

第6章 職員派遣・受入関係

第1節 職員派遣の状況

東日本大震災発生以降、環境生活部内では、埋火葬、水道事業、災害廃棄物への対応のため、さらには東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に対応するため業務が繁忙となった所属に対して、部内職員による業務支援を行った。

また、人事課からの要請を受け、被災市町への業務支援、宮城県災害対策本部への支援のため、職員を派遣した。

1 環境生活部内業務への支援

(1) 環境生活総務課

① 企画調整業務

被害状況の把握や、災害対策本部への対応のため企画調整班の体制を強化した。

- ・ 期 間 平成23年3月19日から平成23年6月30日まで
- ・ 人 数 延べ63人（1日1～2人）
- ・ 支援元所属 環境政策課、共同参画社会推進課

(2) 原子力安全対策課

① 放射能に関する電話相談業務

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により飛散した放射性物質に対して県民が抱える疑問や相談への対応のための電話相談業務に関係課の職員の応援を得て対応した。

- ・ 期 間 平成23年7月25日から平成23年11月24日まで
(電話相談窓口は平成23年3月16日に開設し、現在も継続中)
- ・ 人 数 延べ42人（1日1～2人）
- ・ 支援元所属 環境政策課、環境対策課、食と暮らしの安全推進課、薬務課

② 除染支援チームによる支援業務

放射性物質汚染対処特措法に基づき「汚染状況重点調査地域」に指定された9市町の円滑な除染の推進を支援するため、部内職員の応援を得て、「除染支援チーム」を設置した。

- ・ 期 間 平成23年12月21日に編成し、現在も継続中
- ・ 人 数 延べ102人
 - ※平成23年度メンバー 15人の他課支援
 - ※平成24年度メンバー 9人の他課支援
 - ※平成25年度メンバー 7人の他課支援

- ・ 支援元所属 環境生活総務課, 環境政策課, 環境対策課, 自然保護課, 食と暮らしの安全推進課, 資源循環推進課, 保健環境センター, 原子力センター, 仙南保健福祉事務所, 北部保健福祉事務所

(3) 食と暮らしの安全対策課

① 遺体処理業務

ア 遺体搬出

遺体を東京都において火葬するためのグランディ21に安置されている棺の搬出及び搬送車輛への積み込み業務に従事した。

- ・ 期 間 平成23年4月18日
- ・ 人 数 15人
- ・ 支援元所属 消費生活・文化課, 自然保護課, 共同参画社会推進課, 保健環境センター

イ 遺留品洗濯

身元判明の手掛かりを保全するため身元不明遺体の着衣の洗濯等に従事した。

- ・ 期 間 平成23年4月25日から平成23年5月20日まで
- ・ 人 数 28人
- ・ 支援元所属 保健環境センター

② 水道事業体の応急復旧業務

市町村等が水道施設災害の現地査定を受検するにあたっての助言, 指導及び国との調整や災害復旧費(補助金)の交付, 繰越等の事務手続き業務に従事した。

- ・ 期 間 平成23年4月1日から平成24年10月31日まで
- ・ 人 数 延べ391人(兼務発令1人)
- ・ 支援元所属 自然保護課

③ 被災動物の保護対策

派遣された職員は次の業務に従事した。

- ・ 保健所で保護した犬及び猫の給餌給水, ケージの清掃消毒, 散歩等の飼養管理
- ・ 譲渡する犬及び猫に対する健康チェック, ワクチン接種等の衛生管理及び不妊手術の助手
- ・ リーダーとしてボランティアを指導監督
- ・ 期 間 平成23年4月19日から平成23年7月29日まで
- ・ 人 数 延べ120人
- ・ 支援元所属 食肉衛生検査所

④ 放射性物質に関する対策

ア 牛肉流通状況調査

福島第一原子力発電所事故により, 放射性物質に汚染された稲わらを給与され

た牛の肉から、暫定規制値(500Bq/kg)を超えた放射性物質が検出されたことから、当該牛肉の流通先を調査し、残品の有無を確認する業務に従事した。

- ・期 間 平成23年8月1日から平成23年9月9日まで
- ・人 数 延べ108人
- ・支援元所属 環境政策課，環境対策課，自然保護課，消費生活・文化課，共同参画社会推進課，食肉衛生検査所

イ 放射性物質検査体制整備

出荷制限措置となった県産牛の解除に向けて、放射性物質の全頭検査を開始するに当たっての、検査機器購入や設置等に関する事務に従事した。

- ・期 間 平成23年8月8日から平成23年10月14日まで
- ・人 数 延べ27人
- ・支援元所属 食肉衛生検査所

⑤ 緊急通行車両証明書発行等業務

葬祭業者及び水道関連業者に交付する緊急通行車両証明書発行申請の事務作業その他、安置所等からの要請に基づく棺等の発注、遺体安置所に関する問い合わせに対応した。

- ・期 間 平成23年3月14日から平成23年3月31日まで
- ・人 数 延べ29人
- ・支援元所属 保健環境センター

(4) 廃棄物対策課(平成23年9月1日以降 震災廃棄物対策課)

① 震災廃棄物処理業務

震災廃棄物の処理を適切に行うため、平成23年3月14日に廃棄物対策課内に部内職員の応援を得て「震災廃棄物処理対策検討チーム」を設置し、災害廃棄物処理の基本方針を策定した。

4月1日には、災害廃棄物を迅速かつ効率的に処理するため「震災廃棄物処理チーム」を設置し、4月4日には部内職員24名に兼務発令を行った。

9月1日は、被災市町からの災害廃棄物処理の事務委託が進んだことに伴い、「震災廃棄物対策課」を設置した。

- ・期 間 平成23年3月14日から
- ・支援元所属及び人数
- ・平成23年3月14日～平成23年3月31日
環境政策課1人，資源循環推進課9人，竹の内産廃処分場対策室2人
- ・平成23年4月4日～平成23年6月30日
環境政策課2人，環境対策課2人，自然保護課2人，資源循環推進課11人，竹の内産廃処分場対策室2人，消費生活・文化課2人，共同参画社会推進課2人(5月16日～1人)，仙南保健福祉事務所1人

- ・平成23年7月1日～平成23年8月30日
環境政策課3人，環境対策課2人，自然保護課1人，食と暮らしの安全推進課1人，資源循環推進課11人，竹の内産廃処分場対策室1人，消費生活・文化課2人，共同参画社会推進課1人
- ・平成23年9月1日～平成24年3月31日
環境政策課2人，環境対策課2人，自然保護課1人，食と暮らしの安全推進課1人，竹の内産廃処分場対策室1人，消費生活・文化課2人，共同参画社会推進課1人
- ・平成23年12月1日～平成24年6月30日
仙台保健福祉事務所岩沼支所1人，東部保健福祉事務所2人
- ・平成24年7月1日～（平成25年7月現在継続中）
仙台保健福祉事務所岩沼支所1人，東部保健福祉事務所1人，気仙沼保健福祉事務所2人

2 他部局への支援

(1) 総務部

① 県災害対策本部業務

県災害対策本部の業務を支援するため部内職員を派遣した。

- ・期 間 平成23年3月14日から平成23年4月30日まで
- ・人 数 延べ94人
- ・派 遣 先 災害対策本部
- ・派遣元所属 環境政策課，環境対策課，自然保護課，資源循環推進課，消費生活・文化課，共同参画社会推進課，保健環境センター

② 避難所実態調査

避難所に対する効果的な支援策を検討するため行われた全避難所運営状況調査に職員を派遣した。

- ・期 間 平成23年4月26日から平成23年4月28日まで
- ・人 数 各日2人
- ・派 遣 先 災害対策本部
- ・派遣元所属 環境対策課，自然保護課

(2) 保健福祉部

① 応急仮設住宅に係る民間賃貸住宅借上げ契約業務

民間賃貸住宅の借り上げ契約事務を支援するため職員を派遣した。

- ・期 間 平成23年8月8日から平成23年8月12日まで
平成23年8月17日から平成23年8月19日まで
平成23年8月23日から平成23年8月26日まで

平成 23 年 8 月 30 日から平成 23 年 9 月 2 日まで
平成 23 年 9 月 6 日から平成 23 年 9 月 9 日まで

- ・人 数 各日 3 人
- ・派遣先 震災援護室
- ・派遣元所属 環境生活総務課，環境政策課，環境対策課，自然保護課，消費生活・文化課，共同参画社会推進課

(3) 企業局

① 水質検査業務

被災し送水が停止している仙南・仙塩広域水道の復旧のため，水質検査職員を派遣した。

- ・期 間 平成 23 年 3 月 16 日から平成 23 年 3 月 31 日まで
- ・人 数 2 人
- ・派遣先 仙南・仙塩広域水道事務所
- ・派遣元所属 仙南保健福祉事務所，保健環境センター

3 市町村への支援

(1) 被災市町への人的支援

被災規模の大きい市町の被災者支援等業務を支援するため，職員を派遣した。

- ・期 間 平成 23 年 3 月 13 日から平成 23 年 9 月 16 日まで
- ・人 数 延べ 932 人
- ・派遣先 石巻市，塩竈市，角田市，東松島市，山元町，涌谷町，女川町
- ・派遣元所属 環境生活総務課，環境政策課，環境対策課，自然保護課，消費生活文化課，共同参画社会推進課，保健環境センター，動物愛護センター，保健福祉事務所

